

「すみだオンライン授業システム」

～感染不安や濃厚接触者に指定されるなどで

やむを得ず登校できない児童・生徒の学びを継続し、心身の成長を図る～

やむを得ず登校できない児童・生徒へは、

- 朝の会や帰りの会では、健康観察や連絡をし、教室で行っている授業をライブ配信します。
- 学習予定や課題、宿題をロイロノートで送信します。
- 放課後、同時双方向でつなぎ、個別指導や面談を行います。

一日の授業の流れ（例）

| | |
|------|---------------------|
| 朝の会 | 健康観察 今日の予定の確認 |
| 1校時 | 国語 |
| 2校時 | 算数 |
| 3校時 | 理科 |
| 4校時 | 社会 |
| 5校時 | 国語 |
| 6校時 | 体育 |
| 帰りの会 | 今日の振り返り 明日の予定の確認 |
| 放課後 | 個別指導・面談 |

※ 教室の時間割どおりに学習します。

（例）算数の学習の流れ

- ① 先生から、課題を提示します。
- ② 自分で課題に取り組みます。
- ③ 映像を見ながら、解答を確認します。
- ④ 学習のふりかえりをします。
- ⑤ ふりかえりシートに取り組みます。

（例）社会の学習の流れ

- ① 先生から、課題を提示します。
- ② 教科書を読みながら自分で課題に取り組みます。
- ③ NHK for school を視聴し、学習内容を確認します。
- ④ もう一度、教科書を読み、学習内容の定着を図ります。

オンライン授業でできること

健康観察

連絡・相談

ワークシート、写真、動画の交換

ふりかえりシート
の送信・評価・返却

ミライシード
で問題練習

動画視聴
(NHK for school 等)

動画配信、Web サイト提示

これらは、一例です

オンライン授業では、難しいことは・・・

○実技教科等の実施

Q：体育「ボール運動」、国語「話し合い活動」など、関わり合いが必要な学習は、どのように行うのでしょうか。

→ 児童・生徒での関わり合いが必要な学習内容は、実施ができません。登校ができるようになった際に、改めて学習を実施するように計画します。

○学習評価

Q：オンライン授業を受けて、課題などに取り組んだ場合でも、他の児童・生徒と同じように評価してもらえるのでしょうか。

→ 課題の提出状況や内容等を踏まえ、評価規準を基に、適切に評価します。なお、実技等、オンライン授業の評価だけでは難しい内容があります。その場合、登校ができるようになった際に改めて学習することで評価することができます。

「すみだオンライン授業システム」の考え

- 学校は、子供たちにとっての大切な居場所です。従って、対面授業を行うことを基本としますが、やむを得ず登校できない児童・生徒の学習を継続するように努めます。
- 朝の会、帰りの会では、同時双方向で児童・生徒と教員とをつなぎ、児童・生徒の健康観察を行うことで、心の安定を図ります。
- 課題や宿題は、ロイロノートで配信し、児童・生徒に取り組みせ、回収後評価して返却します。
- また、やむを得ず登校できない児童・生徒のオンライン授業であっても、個人で課題に向き合う中で、粘り強く取り組む姿勢や自律性、課題を解決する経験を積み重ねることで自己肯定感が高まるなど、非認知的能力を育むことが期待できると考えます。

すみだは、全ての児童・生徒の学習を継続します。